

## 子育て支援の更なる充実を求める要望書

わが国の合計特殊出生率は年々低下し、二〇〇五年には過去最低の一・二六を記録し、その後、児童手当の対象年齢の拡充や出産育児一時金の拡大等、様々な少子化対策の効果によって昨年は一・四三まで改善したものの、人口を維持するのに必要な二・〇八を大きく下回っており、更なる子育て支援策を講じる必要があります。

本市も新年度から「赤ちゃんにつこり応援事業」を実施予定ですが、実施に伴い従来の三人乗り自転車貸与事業が、今月末で急きよ廃止となり利用者から、あと一年で幼稚園の送迎が終わるのに、今新車を購入するのは負担が大きいとの声が上がっております。

また、子ども医療費無料化は、中学三年生まで拡充をされておりますが、高校に通わす保護者から授業料以外の教材費や修学旅行費等が家計を圧迫しており、医療費の無料化を十八歳未満まで拡充してほしいとの声が上がっております。

つきましては、子育て世帯の負担を少なくし、子どもの心身の健全な発達を促すためにも、左記の通り要望いたします。

### 記

一、三人乗り自転車貸与中の家庭に対し、激変緩和措置として、一年間延長の貸与を、また、貸与中の車両については購入ができるよう配慮すること。

二、子ども医療費無料化の対象年齢を十八歳未満まで拡充すること。

平成二十七年 三月十一日

公明党川口市議会議員団

川口市長 奥ノ木 信夫 様